

# 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

焼野小	学校
-----	----

児童数	348
-----	-----

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.90	19.21	33.38	36.34	42.28	9.49	140.21	20.14	50.14
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.63	20.64	39.07	36.08	36.36	9.62	140.88	11.80	53.96
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

### 結果の概要

男子は、「握力」「上体起こし」「長座体前屈」のみ市平均を上回った。特に、20mシャトルラン「立ち幅跳び」との差が大きかった。一方女子は、「反復横跳び」「ソフトボール投げ」以外は市平均を上回った。その中でも「上体起こし」「50m走」は全国平均を上回り、良い結果であった。体力合計点は、男子は市や全国平均を下回り、女子は全国平均並みであった。質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の「好き」「やや好き」の合計が男子は100%、女子は86.7%と市や全国平均より高い。運動に対する好意的な態度は高いと見える。1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は、男子が13%、女子が25%と市や全国平均よりも高い割合となった。体を動かす機会が比較的少ない傾向が男女ともに見られる。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体力テストに向けて、50m走、ソフトボール投げ、反復横とび、20mシャトルランの事前練習会を行い、運動機会を確保した。今年度からの新たな取り組みである「ボールけり週間」では、普段の休み時間ではできないボールけり体験を春と秋の年2回取り組んだ。体育科のボール遊びやゴール型運動への意欲づけを行うことができた。また、サッカーチームのスクールコーチによるトップアスリート事業を通して、運動を楽しくかつ上手になれるようなコツや、目標をもつ大切さを学ぶことができた。

今後は、体育科における運動時間の確保ができるような「できる」「わかる」「たのしい」授業づくりを推進していくことや、秋の「縄跳び週間」や、冬の「かけ足週間」といった強調週間の取り組みが両輪で機能することで、運動経験の増加や、運動への意欲向上を図っていく必要がある。また、シナプソロジーや姿勢体操を活用することで、運動の素地を養っていききたい。